

たすけあい

2013年7月号
No.475

発行
栃木県労働者福祉協議会

編集
共同編集委員会

栃木県労働者福祉協議会 第五四回定期総会

五月二七日栃木県労働者福祉協議会第五四回定期総会が栃木県労働者福祉センター七階会議室において代議員六三名参加のもと開催された。



伍井会長あいさつ

開会冒頭、伍井会長から、昨年一二月の総選挙は、民主党の失策により自民党政権に移行することとなり、安倍内閣が発足し、株価の下落、黒田日銀総裁の誕生など目まぐるしく経済が動いている。また、日本政府と米政府が両国の経済発展のために改善が必要と考える相手国の規制や制度の問題点についてまとめた文書「年次改革要望書」を毎年取り交わしていたが、民主党政権になって、鳩山内閣

は、アメリカによる内政干渉を制度化したものとと言われるこの「年次改革要望書」を廃止した。しかし、自民党政権になり復活し、TPP交渉への参加など要望が出されている。安倍政権になってから、アベノミクスなどと言われ国民が踊らされているが、安倍政権の本質は、労働者派遣法の改正など見てもわかるように、富裕層の優遇、そして、弱者切り捨てともいえる政策が行われています。この時もターゲットにされるのは社会的弱者が攻撃を受けることとなります。貧困の対極にあるのは正義であります。この正義を守ることが連合・労福協の役務であります。引き続き労福協運動にご協力をお願いいたします。

今定期総会は一年間の総括と運動方針を決める大会である。代議員の皆さんの真摯な討議で承認していた

だきたいとのあいさつがあった。

その後、ご来賓の連合栃木・青木義明会長から激励のごあいさつをいただいた。引き続き、一年間の活動報告、会計報告、監査報告、活動方針が提起され、議案審議を行い原案通り承認された。



青木連合会長あいさつ

今定期総会で確認・承認された議案は次のとおりです。

報告事項

第一号議案

二〇一二年度

一般経過報告

会計報告

会計監査報告

第二号議案

二〇一三年度

活動方針(案)

予算(案)

第三号議案

役員改選
以上、満場一致で承認され、第五四回定期総会は終了した。



提案する小松事務局長

労福協役員名簿

会長	青木義明(新)
副会長	伍井邦夫(新)
事務局長	板橋賢二(再)
幹事	小松清(再)
	吉成剛(再)
	小峰良一(再)
	鈴木正(再)
	菊嶋貴之(再)
	麦倉常治(再)
	立川一男(再)
	後藤裕見(再)
	福田和幸(再)
	大塚京子(再)
	金子安男(再)
	中田和良(新)
	塚原政雄(再)
	小古山稔(新)
	森下茂(再)
監事	大類康男(再)

〈中央ろうきん〉の 住宅ローン/借換・買替ローン

- 最高1億円 ●最長35年 ●不動産担保
- 団体信用生命保険付(融資額の範囲内:最高1億円)



ろうきんイメージモデル
高垣 麗子

2013年6月1日現在

金利ミックス

金利変動リスクを抑えた
“あんしん”の返済プラン

〈中央ろうきん〉の金利ミックス

2つの金利タイプを組み合わせ、それぞれのメリットをいかしつつ
将来の金利変動リスクを抑えることが可能です。

全期間固定金利型
【当初期間引下げ型】

変動金利型
【全期間引下げ型】

標準金利

年 **3.6%**

標準金利

年 **2.475%**

最大引下げ後金利

年 **1.9%**

最大引下げ後金利

年 **1.075%**

標準金利より
最大1.7%引下げ

標準金利より
最大1.4%引下げ

※実際のご融資金利は、お申込み時点ではなく、お借入れ時点の金利が適用となります。※新規適用金利は毎月見直しを行います。金利情勢により月中に変更となる場合がございます。※別途、保証料が必要となります。保証料は①『一括前払い方式』(例えば、20年1,000万円のお借入れの場合、90,310円～252,850円)と、②『月次後払い方式』(年0.14%～0.36%をご融資金利に上乘せ)ががございます。※上記商品は、他の金利タイプとの組み合わせも可能です。※組み合わせる金利タイプは2種類までとし、同一金利タイプの組み合わせはできません。※金利引下げの適用には、給与振込等3項目以上の条件や会員資格等の条件がございます。詳しくは、店頭のチラシ等でご確認ください。※当金庫の住宅ローン(借換・買替ローン含む)のお借換えには、ご利用いただけません。※「金利ミックス」は、ご契約が2口となりますので、お借入金額によっては1口の場合より印紙代が高くなることがございます。※別途、不動産担保取扱手数料として10,500円または31,500円(ともに消費税込み)がかかります。※返済条件の変更等に際して、別途手数料が必要となる場合がございます。※団体団員の構成員以外の方は、ご利用にあたって中央ろうきん友の会に入会すること、または当金庫の個人会員(最低出資金1,000円が必要)となる必要があります。※ご返済が滞った場合は、金利引下げが受けられない場合がございます。※店頭やホームページで、ご返済額の試算ができます。※審査の結果、ローン利用のご希望にそえない場合がございます。※店頭に説明書をご用意しております。

〈栃木地区限定〉住宅ローン借換キャンペーン

2014年3月末まで実施中!!

○キャンペーン期間中に栃木地区営業店およびローンセンターにて借換試算をされた方を対象に、クオカード500円分をプレゼント(お一人様1枚限り)。
※当金庫でお借入れいただいている住宅ローンからのお借換えはできません。



24時間いつでも!

住宅ローンWeb簡易審査申込、好評受付中!

中央ろうきん

検索

▶ <http://chuo.rokin.com>



モバイルサイトでも、「ローンのご相談」を受付中!

※二次元バーコード(QRコード)の読み取りは、携帯電話端末機種、印刷状態、読取環境等により、正常な読み取りができない場合がございます。ご了承ください。



毎週木曜日は19時まで窓口営業延長&毎月第3土曜日は「〈ろうきん〉相談会の日」

※「〈ろうきん〉相談会の日」は、一部未開催店舗・月がございます。詳しくは営業店までお問い合わせください。

お問い合わせ・ご相談は

詳しくはお近くの営業店またはローンセンターまでお問合せ下さい。

あんしん
創造バンク

中央ろうきん

茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・
山梨の店舗でお待ちしております。

R
MICHIN



〈ろうきん〉からのお願い



〈ろうきん〉ATMおよび 〈ろうきん〉カード 一時休止のお知らせ

他の金融機関・コンビニを含め全国すべてのATMで
〈ろうきん〉のカードがご利用いただけません。

7/13 土

8/17 土

9/14 土

お引出し お預入れなどはお早めをお願いいたします。

〈ろうきん〉ではみなさまへのサービス・利便性向上をめざして、2014年1月5日に新しいオンラインシステムへの移行を予定しています。このため、上記の日程でオンラインサービスを休止いたします。

ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

受付時間

平日 9:00～18:00

土曜・日曜・祝日

(12月31日～1月3日は除く)

お問い合わせ

中央労働金庫 Tel 0120-807-150

5月19日大田原市
「森の水車米」生産者交
流会に25家族100名
の組合員・家族が参加

とちぎコープ

とちぎコープの「生産者
交流会」は、消費者と生産
者の交流を図り、農業体験
を通して食育・環境・生き
る力等を考える場の提供を
目的に、既に20年を越えて
開催されています。

年間登録制で春・夏・秋
の3回連続開催方式に変え
て今年で6年目、約半数の
13家族が今年もリーダー
で参加されました。



泥んこになったの田植え

初回の5月19日(日)は
田植え、芋・枝豆の種植え、
ピザ作りが行われました。
田植えでは、田んぼの中を

プールのように泳ぎ!?まわ
るお子さんもいれば、泥の
中に一歩が踏み入れられず
畦でグズっているお子さん
もいるなど、子供たちの好
奇心や初めての体験で不安
な様子などが見られました。



「玉ねぎは僕が切ったんだよ」

米粉を使ったピザ作りで
は、家族で協力して具材を
準備し、手作りのピザ釜で
焼き上げました。



五月女代表

また、生産者団体「那須
山麓土の会」の五月女代表
が農業の楽しさや苦勞、T
PP問題など、農業の未来
について熱く語っていたの
が印象的でした。

全労済 こくみん共済が30周年を迎えました

こくみん共済は選ばれつつけて30周年!

全労済の「こくみん共済」

は1983年に発売され、おかげさまをもちまして今年で30周年を迎えることができました。当時、労働者共済運動を地域の勤労者層に広げるために発売されたこくみん共済ですが、発売まもなくから多くの皆さまに支えていただき現在に至っています。

こくみん共済の30周年記念ロゴと新キャッチフレーズが発表されました!

こくみん共済30周年に合わせ、「親から子へ、そして孫の世代へとこくみん共済を通して安心をつないでいく」、そういった想いを込めて、新たなキャッチフレーズ「世代を超えて、安心してこくみん共済」が発表されました。

こくみん共済のラッピングバスが走っています!



各世代に幅広い

保障をご提供

こくみん共済はけがと賠償の保障をこれまでよりも充実させるために、満0歳から59歳までご加入いただける「傷害安心タイプ」と、満60歳から79歳までご加入いただける「シニア医療タイプ」「シニア傷害安心タイプ」が加わり、さらに充実したラインナップとなっています。

傷害安心タイプ

「傷害安心タイプ」では、他人のモノを壊してしまったり、けがを負わせてしまったり、また自分けがをしたときの思わぬ出費に備えることができます。被共済者本人がけがをして入院または5日以上の上の通院をした場合に、部位・症状別に最高18万円まで保障します。また、5日未満の通院をした場合にも、日額3000円を保障します。

「シニア医療タイプ」は満60歳から64歳の健康な方が加入でき、最高満70歳まで保障の対象となります。月々2000円のお手頃な掛金で病気やけがで5日以上連続して入院したとき、1日目から日額3500円が最高180日分まで保障されます。

シニア医療タイプ

「シニア傷害安心タイプ」は、万一の賠償に備えるだけでなく、交通事故や不慮の事故による通院や入院も保障対象になります。「シニア医療タイプ」とあわせてご加入することで手厚い保障にすることも可能です。ぜひご加入を検討してみてください。

シニア傷害安心タイプ

年度も未だに2割と高い割合で推移しています。また、自転車対歩行者の交通事故件数は10年前の約1.5倍に増加しています。(警視庁調べ)。さらに、「自転車で行中、歩行者に衝突。相手側の身体に重い障がいが残ってしまった」事故に対して、損害賠償として5000万円の賠償命令が下ったという実例もあります(平成17年 横浜地裁)。

自転車は自動車やバイクと違い、強制加入の賠償責任保険制度がありません。こうした思わぬリスクに備えるために、「傷害安心タイプ」と「シニア傷害安心タイプ」があります。この「傷害安心タイプ」と「シニア傷害安心タイプ」では、第三者に対する賠償責任が発生したとき、一契約で生計を一にする親族も最高1億円まで保障されます。この機会に一度、日常生活に潜む賠償リスクへの備えを検討してみたいかがでしょうか。

日常に潜む、思わぬ

「賠償リスク」

自転車関連事故の全交通事故に占める割合は平成21年に比べて鈍化傾向にあるものの、平成23

栃木ではおなじみ？雷のはなし

「雷都」宇都宮のはなし

栃木県が日本でも有数の雷の多い県ということは、皆さまはすでにご存知かもしれません。特に来月8月は、内陸部では1年間で一番落雷被害の多い季節となります（気象庁HPより）。

北関東地方は、特に夏の雷が多く「雷の銀座通り」などと呼ばれることもあるほどです。関東地方の気象庁観測点では突出して雷日数の多い宇都宮市では、「雷都」という地域の愛称に取り込み、宇都宮市債や土産

物の菓子の名称などに使われています。

落雷被害も保障！

全労済の火災共済

全労済の火災共済は火災による被害だけではなく、落雷や車両の飛び込みなど住宅にかかわるさまざまなリスクに備える保障となっています。

この火災共済の中で共済金のお支払い件数のトップは、火災被害ではなく落雷被害なのです。また、住宅への保障を考えるあまり、忘れてしまいがちなのは家財道具への保障です。例えば、落雷被害によっ

て電化製品が壊れてしまった、そんな時に火災共済の家財保障にご加入いただければ保障の対象となるので安心です。

一人暮らしをはじめた方や、単身赴任などで賃貸住

宅にお住まいの方には家財保障へのご加入をおすすめします。もちろん火災共済では家財保障のみのご加入も可能ですので、雷の多い栃木県だからこそ、検討してみてはいかがでしょうか。

第一四回「福祉まつり」開催される

第八四回栃木県メーデー

宇河地区大会と同日、宇都宮市オリオン市民広場ならびにオリオン通りで第一四回福祉まつりが四月二八日（土）に開催しました。「地域住民と事業団体および労働組合員・家族のふれあいの場を設定し勤労者福祉の増進をはかる」ことを目的に、栃木県労協主催、後援団体に栃木県・宇都宮市・オリオン通り商店街振興組合、協賛団体に連合栃木・中央労働金庫栃木県本部・全労済栃木県本部・栃木労生協・栃木ファミリー・とちぎコープ・栃木県生協連・労働者福祉センターの協力を得て、開催しました。今回は地域住民の協力としてオリオン商店街の皆様にも協力を得て取り組みました。当日の催し物は、連合栃木による、



ご当地アイドル「TIP」ミニライブ

ご当地アイドル「TIP」のミニライブ、YOSAKOIソーラン「勢や」ショー、福祉事業団体によるローン相談会や保障相談、親子でものづくり、綿菓子、ポップコーン販売、ミニ動物園・ミニSL、マジックバルーンアートなどの催し物、あわせて東日本大震災で被害に遭われた県民の皆様にも役立てることを目的とする「新鮮野菜の販売」を実施しました。



マジックバルーンアート



ミニSL

売上金については、宇都宮市社会福祉協議会「ぎんなん基金」に五万円、栃木県には八月二三日に「栃木県東日本大震災復興推進基金」に各拾萬円をそれぞれ寄附することとしております。

食とみどり、水を守る運動推進 委員会主催行事「足尾観察会」

連合栃木、「食とみどり、水を守る運動推進委員会」（以下…委員会）は、足尾松木沢地区に二〇〇三年から二〇一二年まで一〇年間、「ミズナラ」「コナラ」「イロハモミジ」「オオヤマザクラ」などを中心に二か所の土地を借用し植林活動を行ってきました。第一植樹地へ最初に植えた苗はほとんどが五〇センチたらずでしたが、その間「鹿の食害」の影響を受けたり根付かずに枯れてしまったり状況下にありながらしつかりと耐えた苗の二割程度が元気に育ち、今ではたわわに枝葉を茂らせています。黒茶けていた山肌も一面とは言えませんが濃淡のみどりに広がってきています。

委員会として、一〇年を節目に植林作業を一旦終了させ、今後は植林の手入れや樹木の生育状況を観察していく活動へ移行することとしました。その試みの初年度として足尾観察会と銘打ち、五月二五日（土）に四五名規模で枯れ木の伐採作業と間伐作業、そして鹿の食害予防に効果のあるネット巻きの作業を実施しました。これまでに数回、下草刈りのついでに目に付いた木の枝うちは行ってきましたが、植樹地全体に亘つての除伐作業は今回が初めてで、参加された方々には慣れないノコギリでの裁断は少々苦戦されたことと思います。たぶん翌日には筋肉痛に襲われていたことでしょう。数本ですが大木の枯木があり、さすがにこの場面にはチェーンソーが登場しました。参加者から「最初からチェーンソーで・・・」といった苦情は不思議とありませんでした！おかげでこれまで光が入らずにジャングル（オーバーな表現かも？）化していた植樹地の奥まで光が射し込み、樹木には欠

かせない光合成が活発に行われる環境が整いました。また、一〇〇本近くの幼木に鹿の食害予防ネットを巻きましたので来年以降も益々みどりが山肌一面を覆うことを祈念しています。参加されたみなさん！来年もよろしく願います。追伸。委員会ではこれまでの活動を振り返る「足尾植樹一〇年史」を発行準備中です。ご期待ください。

（連合栃木 加藤）



「2002/5/24 第1回植樹デー集合写真」
10年前の様子



「2013/5/25 足尾観察会」
連合栃木の森が出来ました

労福協・働く人の生活 相談センター那須から

この那須地域に相談センターを開設して、早いもので三年目を迎えました。

着任当初の相談は以前勤務していた会社の同僚や部下からの、定年に関する相談が多く寄せられました。幸いこれらの相談は、自分の実体験を交えて説明することができましたので、仕事のスタートに相應しい上々な対応が出来たと思っております。しかし、その後の相談実績を省みると残念ながら一般の勤労者からの相談はほとんど無く、約一年半の時間が過ぎてしまいました。その原因は明らかで「相談センター」の存在を広く地域に広報していないからでした。この解決策として事務局からは、各市町の広報誌に「相談センター」の広告を掲載するとの指示でした。早速、各市町のホームページから広報に関する情報を集め、とりあえず那須塩原、那須烏山市、大田

原市の三市を対象に広報誌への掲載手続きを行いました。その効果は歴然で、広報誌が発行されると今までになかった電話の相談が四件も入ってきました。その中身は、「単に愚痴を聞いてほしい」や「当相談センターの相談ジャンル以外の相談」もありましたが兎にも角にも一歩ずつ市民に浸透し始めたという証に他なりません。このような状況を踏まえ、この地域に生活する勤労者からの相談には、対応の質の向上と充実を図るため、連合栃木の「労働福祉」の相談窓口との連携を、より一層密接することだと考えております。私たちの周りには社会の仕組みとして、いろいろな相談のチャンネルが用意されています。私たち相談員の活動は、相談者の立場で考えることが基本原則です。そして、それらのチャンネルを有効に活用し紹介しながら、より適切なアドバイスができるように心掛けなければならないと考えております。



山田理事長あいさつ

通常総会開催

去る、五月二十七日 午後三時より福祉センターに於いて第四十八回通常総会が開催されました。

黒崎副理事長が司会となり開会を宣言。

資格審査の後、連合栃木
鈴木代議員が議長に選出さ
れました。議長選出から書
記任命と進み、山田理事長
の挨拶がありました。

「常日頃から当センタへのご支援・ご協力に感謝申し上げます。今日もマーケットの動きは大きいようで、実態経済に伴わないアベノミクスに対して市場から警戒のシグナルが発せら

れております。是非、賃上げや雇用の拡大による実態経済に根差した真面目な経済政策を強く求め期待したいところであります。

動の共通拠点、勤労県民の福利厚生施設として時代の要請に応えていけるような愛着の持たれる会館づくり
に広範の角度からご声援等をいただければと願っております。」

第一号議案 二〇一二年
度事業経過報告、第二号議

当センターの前年度は、新法人に移行いたしました。初年度でありました。一年目ということで認可条件でありました公益事業を計画

案 二〇一三年度事業計画及び収支予算、第三号議案
役員改選が順次、慎重審議され、すべて承認されました。

通りに実行することが新たなテーマとなりました。結

改選された新役員は次のとおりです。

果的には、カルチャースクール受講者が予定より大幅に上回りましたので一四〇％余の実績で公的貢献を

理事 伍井邦夫（再）
副理事 加藤 剛（再）
専務理事 小古山 稔（新）
理事 黒崎健憲（再）

成し遂げることができました。この機会にあらためま

田村至男（再）
川上靖行（再）

して各団体のご協力に感謝いたします。本年度のテ-

岩本治美（再）
後藤裕見（新）

マは、一年目の懸案課題が一段落いたしましたので、

川喜多 弘(新)
中田和良(新)

今後の会館運営について
ハード面、ソフト面から将

小松 清 (再)
金子安男 (再)

来像を展望するスタートの
年次に位置付けたいと思っ

監 事 岩崎研司（再）

ております。労働者福祉運

大類康男（再）

がん保障の備えは万全ですか？

【主契約】 がんの保障

＼新登場／

**生きるための
がん保険 Days**



特約

ご希望にあわせて必要な特約をお選びください

手術・放射線治療特約

抗がん剤治療特約

長期支援特約

所得サポート特約

特約 コサージュ

※詳しくはパンフレット（契約概要）をご覧ください。

「生きる」を創る。

(引受保険会社)

Aflac

〒320-0964 宇都宮市駅前通り 1-3-1 フミックス STM ビル
アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)
宇都宮支社 TEL028-623-0192

(お問い合わせ先・募集代理店)

〒320-0052 宇都宮市中戸祭町 821 県労福センター 6F
栃木ファミリー（栃木労生協 保険部）
フリーダイヤル 0120-839-816

栃木労生協 第四八回通常総代会

五月二七日(月)宇都宮市中戸祭・栃木県労働者福祉センター七階会議室に於いて出席総代二八名、委任四六名、計七四名(総代数一〇〇名)過半数に達したことを確認。栃木労生協第四八回通常総代会が開催されました。



伊藤理事長あいさつ

開会に先立ち、伊藤理事

長より本日は大変お忙しい中、そして労福協、福祉センター総会に引き続きお疲れのところ、栃木労生協総代会にご出席をいただき心より感謝申し上げます。わが国は、二〇一一年三月の東日本大震災で大きな打撃を受けましたが、あらゆる困難を乗り越え、経済の立て直しを図ってきました。

しかし、被災地ではまだまだ復興途上にあり、きびしい避難生活を余儀なくされているのが現状です。一日も早く、希望をもって復興に臨めることを祈っております。このような中で二〇一二年度も、労生協にとりまして厳しい一年間の経営となりましたが努力の結果、黒字を確保することができました。

この間、ご協力いただきました関係団体、組合員の皆様に役職員一同心より御礼申し上げますとともに、これからも「消費者のくらしをまもるための生協」の原点に返り、生協の役割、位置づけを再認識し、組合員の皆様に理解され、支持されることは勿論のこと、要望に応えられる事業活動になるよう労生協役職員一丸となつて業務に邁進して行きたいと考えておりますのでご協力を切に願ひ申し上げますとのあいさつの

後、第一号議案・二〇一二年度事業報告ならびに決算報告、剰余金処分案、監査報告、第二号議案・二〇一三年度事業計画、第三号議案・役員報酬、第四号議案・不明組合員脱退(除名)、第五号議案・議案効力発生に伴う件について、原案通りすべて承認・決定され通常総代会は終了しました。

労生協役員名簿

理事長	伊藤 大右
事務局長	大塚 京子
理事	山本 格
	鎌柄 克美
	野沢 光弘
	大根田 誠
	阿久津 一弘
	小松 清
	亀田 卓
	野中 保志
	上野 和憲
	川上 靖行
	神山 政一
	川名子伸之
	齋藤 幸博
	早川 一夫
	鈴木 勉
監事	後藤 裕見

特集

道の駅

第十三弾(那須与一の郷)

東北自動車道西那須野塩原インターから約二五分ほど、ライスラインという広域農道沿いにあり源平合戦で平家方の扇を矢で射たことで有名な那須与一の名がついた道の駅です。



道の駅 全景

地元観光案内も充実していますが、地元でとれる農産物や、山の幸が新鮮、かつ、安価で提供されています。おすすめは大田原市の名産とうがらし商品。とうがらしハニー、とうがらしソース、とうがらし羊かん、エトセトラ。いろんなものにとוגがらしです。その中でも特におすすめ



また、与一伝承館では屋島の合戦で那須与一が扇の的を射抜いたエピソードを映像とからくり人形により再現したものをみるすることができます。

那須与一ゆかりの地・松尾芭蕉の史跡等の歴史探訪、ザゼン草・白鳥等の動植物観察の拠点施設。機会あらば立ち寄ってみて下さい。(那須与一の青空銅像、なかなかのイケメンです。)



とうがらしジェラード

は「とうがらしジェラード」辛いと思いきやとうがらしが甘さを引き立て、すっきりとした味わいで、癖になります。ぜひ、一度食べてもらいたい一品です。